

# 自己評価結果等届出書

令和 8 年 2 月 28 日

鹿児島市長 殿

## 1 事業者（所）情報

事業者の名称 (法人名)	株式会社 サクラバイオ				
事業所の名称 (施設名)	進路支援型放課後等デイサービス グッドジョブプレイス				
事業所番号	4650100599				
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/>	児童発達支援	<input checked="" type="checkbox"/>	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援
事業所の所在地	鹿児島市上之園町3-1 ナガヤタワー1階				

## 2 公表状況

公表日	令和 8 年 2 月 28 日	
公表方法	1. 方法の区分 (プルダウンから選択)	ホームページ ↓ 2 に URL を記載
	2. 内容	<a href="https://goodjob.group/profile/#disclosure">https://goodjob.group/profile/#disclosure</a>
	<b>※公表をホームページ以外の方法で行っている場合には、公表している媒体の写しや事業所内の掲示箇所が確認できる写真等も添付すること。</b>	

## 3 自己評価事務担当者情報

担当者名	岡世 和也
連絡先 (TEL)	099-801-7100

※公表している自己評価表を添付すること。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	進路支援型放課後等デイサービス グッジョブプレイス		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 13日		2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 0名	(回答者数)	0名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 13日		2026年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心感をもてる通所と支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員と生徒との関係作りや、安心できる雰囲気作りを大切にしている。</li> <li>共通の趣味や好きなことを通じて交流が出来るように、生徒主体の趣味活動を週1回実施。スタッフが間に入りながら、段階的な交流の場を提供している。</li> <li>集団での活動が難しい際に、個別スペースで参加出来るように環境調整を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>共感的な関わりを継続して行なう。</li> <li>アンケートや相談箱の継続実施</li> </ul>
2	活動プログラムの工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員間でアイデアを出し合ったり、生徒や保護者から意見を聞いたりし、活動プログラムの計画を立てている。</li> <li>生徒の意見や考えを活動に取り入れられるように、活動中に話し合いの時間を作り、計画や希望を収集している。発言が難しい場合には、日誌に内容を記入してもらいプログラムの作成に反映させている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動を通しての成果や成長を生徒本人や保護者が実感できるように、整理分析を行ない、提示できるようにする。</li> </ul>
3	日頃から子どもの状況を伝えあい、共通理解が出来ている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎朝のMTGを実施し、当日利用する生徒の最近の様子・活動での関わり方や要点を確認している。</li> <li>通所時の関りの中で、スタッフ間での共有事項や気になった点を全員で共有できるように、情報共有シートを作成している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタッフ間ミーティングのさらなる充実</li> <li>関係機関との連携強化</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会を設けていない。</li> <li>環境の変化に敏感な生徒が多く企画が難しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>同グループの他事業所との交流イベントから段階的に交流イベントの範囲を拡大していく。</li> </ul>
2	対応マニュアルや避難訓練実施についての周知	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故防止や緊急時の対応マニュアルを作成しているが、保護者への周知ができていない。</li> <li>定期的に避難訓練を実施しているが、避難訓練や防災カリキュラムへの参加率が低い・把握されていない保護者もいらっしゃる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対応マニュアルの周知を図るようにする。</li> <li>興味や関心を持ってもらえるような内容で企画する</li> <li>避難訓練の実施について、事前事後の情報発信を行なう。</li> </ul>
3	保護者向けの交流会や家族支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者交流会の回数が少なかつたため、参加できない保護者もいらっしゃる。</li> <li>ペアレントトレーニング等の家族支援をあまり行なえていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者交流会の回数を増やすように計画する。</li> <li>外部講師に依頼し、専門的な家族支援やペアレントトレーニングを行なう機会を提供する。</li> </ul>

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		進路支援型放課後等デイサービス グッジョブプレイス 【児童発達支援】 ※令和7年度利用者なしのため自己評価のみ			公表日	
					2026年 2月 28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>			・時間を分けているから問題ないが、事業所内で全員での活動は難しい。 ・PCを使用する活動はPCが足りなくなる場合は受け入れが難しい。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>			・集団活動と個別活動に分かれて行う際や定員上限になった際に職員数が足りないと感じる。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>			・物の置き場所を決め、適切に物の管理や使用ができるように工夫している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>			・毎日、清掃や整理整頓を行なっている。 ・手が届かないところの清掃、冷蔵庫器具の清掃が気になるが勤務時間内では難しい。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>			・仕切りのある机や個別スペースを用意し、希望する生徒が使用できるようにしている。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>			・日々の打ち合わせで、振り返りや改善案について話し合っている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>				
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			・打ち合わせの中で、業務について意見交換をする時間を設けている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			定期的にケース検討を行い、専門職や他事業所のスタッフも含め評価を行う。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>			・研修を受講する機会が定期的にある。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>				
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>				
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>			・利用生徒と保護者のニーズや状況を把握し、分析しながら、計画を作成している。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>			・計画と支援内容について、共有や検討を行なっている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>				

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・項目に沿って、目標や支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・アイデアを出し合い、活動プログラムを立てている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・これまでの活動プログラムを振り返りながら、固定化しないように設定している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		当日の朝に打ち合わせを行い、担当の職員が活動の流れや役割分担の共有を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・支援終了後、気になることし、翌営業日の朝の打ち合わせ時に振り返りを行なっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・活動の中で、複数の選択肢から自己決定する機会を設け、個々の状況に合わせた支援を行なっている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・保護者の同意を得た上で、医療や障害福祉サービス、学校との連携を図っている。	・利用生徒が主に中高生のため、在学中の学校等とは情報共有を行なっているが、就学前の園などは共有を行なっていない。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	・地域の他の子どもとの交流はないが、年に1～2度マルシェなどのイベントを行っている。	同グループの他事業所の交流から徐々に交流範囲を拡大していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・進路選択に関することや性教育に関する事など、研修や情報提供を行なっている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・定期的な保護者交流会の開催や、個別相談対応を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			・保護者同士の交流会を開催しているが、日程が合わず参加できない保護者もいらっしゃるため、定期的に複数回、開催するように企画する。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			・マルシェイベントなど生徒の保護者や関連機関の方の招待はしているが、地域住民は招待してはいない
	非常時等の対	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			・定期的に避難訓練を行なっているが、把握していない保護者もいらっしゃるため、事前事後に情報発信を行なうようにする。
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
48		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			・利用開始時に記入された情報シートによるアレルギー、好き嫌い、薬との飲み合わせなどは毎回確認し配慮しているが、医師の指示書に基づいているか分からない。
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			

対応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・朝礼の振り返りで行っている。また、事前にその日来所する生徒に会わせて人員配置を行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	進路支援型放課後等デイサービス グッジョブプレイス		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 13日 ~ 2026年 1月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	69名	(回答者数) 34名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 13日 ~ 2026年 2月 10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心感をもてる通所と支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員と生徒との関係作りや、安心できる雰囲気作りを大切にしている。</li> <li>共通の趣味や好きなことを通じて交流が出来るように、生徒主体の趣味活動を週1回実施。スタッフが間に入りながら、段階的な交流の場を提供している。</li> <li>集団での活動が難しい際に、個別スペースで参加が出来るように環境調整を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>共感的な関わりを継続して行なう。</li> <li>アンケートや相談箱の継続実施</li> </ul>
2	活動プログラムの工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員間でアイデアを出し合ったり、生徒や保護者から意見を聞いたりし、活動プログラムの計画を立てている。</li> <li>生徒の意見や考えを活動に取り入れられるように、活動中に話し合いの時間を作り、計画や希望を収集している。発言が難しい場合には、日誌に内容を記入してもらいプログラムの作成に反映させている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動を通しての成果や成長を生徒本人や保護者が実感できるように、整理分析を行ない、提示できるようにする。</li> </ul>
3	日頃から子どもの状況を伝えあい、共通理解が出来ている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎朝のMTGを実施し、当日利用する生徒の最近の様子・活動での関わり方や要点を確認している。</li> <li>通所時の関りの中で、スタッフ間での共有事項や気になった点を全員で共有できるように、情報共有シートを作成している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタッフ間ミーティングのさらなる充実</li> <li>関係機関との連携強化</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会を設けていない。</li> <li>環境の変化に敏感な生徒が多く企画が難しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>同グループの他事業所との交流イベントから段階的に交流イベントの範囲を拡大していく。</li> </ul>
2	対応マニュアルや避難訓練実施についての周知	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故防止や緊急時の対応マニュアルを作成しているが、保護者への周知ができていない。</li> <li>定期的に避難訓練を実施しているが、避難訓練や防災カリキュラムへの参加率が低い・把握されていない保護者もいらっしゃる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対応マニュアルの周知を図るようにする。</li> <li>興味や関心を持ってもらえるような内容で企画する</li> <li>避難訓練の実施について、事前事後の情報発信を行なう。</li> </ul>
3	保護者向けの交流会や家族支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者交流会の回数が少なかつたため、参加できない保護者もいらした。</li> <li>ペアレントトレーニング等の家族支援をあまり行なえていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者交流会の回数を増やすように計画する。</li> <li>外部講師に依頼し、専門的な家族支援やペアレントトレーニングを行なう機会を提供する。</li> </ul>

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 進路支援型放課後等デイサービス グッジョブプレイス  
【放課後等デイサービス】

公表日 2026年2月28日

利用児童数 69

回収数 34

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	6		3		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	28	1		5		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	26	4		4		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	31	2		1		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	29	2	2	1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30		1	3		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	31	2		1		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	31	2		1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	32	1		1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	28	2	2	2		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	6	9	14		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	33		1			
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	34					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	29	2		3		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	29	5				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28	5		1		

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30	4			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか、また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	24	4		6	
	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	1		4	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	33	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	29			5	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30	1		3	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	3		10	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24	3		7	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	3		9	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	3		13	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12	4		18	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	4		19	
	29	事業所の支援に満足していますか。	26	5	1	2	

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		進路支援型放課後等デイサービス グッジョブプレイス 【放課後等デイサービス】		公表日		2026年 2月 28日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		・生徒が利用する時間帯を分けて運営している。	・事業所内で全員での活動は難しい。 ・PCを使用する活動はPCが足りなくなる場合は受け入れが難しい。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>			・集団活動と個別活動に分かれて行う際や定員上限になった際に職員数が足りないと感じる。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		・物の置き場所を決め、適切に物の管理や使用ができるように工夫している。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		・毎日、清掃や整理整頓を行なっている。	・手が届かないところの清掃、冷蔵庫器具の清掃が気になるが勤務時間内では難しい。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		・仕切りのある机や個別スペースを用意し、希望する生徒が使用できるようにしている。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		・日々の打ち合わせで、振り返りや改善案について話し合っている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・打ち合わせの中で、業務について意見交換をする時間を設けている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		定期的にケース検討を行い、専門職や他事業所のスタッフも含め評価を行う。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		・研修を受講する機会が定期的にある。			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		・利用生徒と保護者のニーズや状況を把握し、分析しながら、計画を作成している。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		・計画と支援内容について、共有や検討を行なっている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>					

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・項目に沿って、目標や支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・アイデアを出し合い、活動プログラムを立てている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・これまでの活動プログラムを振り返りながら、固定化しないように設定している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		当日の朝に打ち合わせを行い、担当の職員が活動の流れや役割分担の共有を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・支援終了後、気になることし、翌営業日の朝の打ち合わせ時に振り返りを行なっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・活動の中で、複数の選択肢から自己決定する機会を設け、個々の状況に合わせた支援を行なっている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・保護者の同意を得た上で、医療や障害福祉サービス、学校との連携を図っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・保護者の同意を得た上で、医療や障害福祉サービス、学校との連携を図っている。	・利用生徒が主に中高生のため、在学中の学校等とは情報共有を行なっているが、就学前の園などとは共有を行っていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		・地域の他の子どもとの交流はないが、年に1～2度マルシェなどのイベントを行っている。	同グループの他事業所の交流から徐々に交流範囲を拡大していく。	

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。		○		・積極的な参加には至っておりません。機会をつくり参加していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達 の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支 援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の 参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・進路選択に関することや性教育に関する ことなど、研修や情報提供を行なっている。	
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な 説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保 護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点 を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けて いるか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説 明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を 得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、 面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・定期的な保護者交流会の開催や、個別相 談対応を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する 等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援を しているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設け る等の支援をしているか。	○			・保護者同士の交流会を開催しているが、 日程が合わず参加できない保護者もいらっ しやるため、定期的に複数回、開催する ように企画する。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備す るとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合 に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用する ことにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこ どもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のた めの配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事 業運営を図っているか。		○		・マルシェイベントなど生徒の保護者や関 連機関の方の招待はしているが、地域住民 は招待してはいない。
非 常 時 等 の 対	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニ ュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に 周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している か。	○			
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発 生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行って いるか。	○			・定期的に避難訓練を行なっているが、把 握していない保護者もいらっしやるため、 事前事後に情報発信を行なうようにする。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況 を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基 づく対応がされているか。	○			・利用開始時に記入された情報シートによ るアレルギー、好き嫌い、薬との飲み合わ せなどは毎回確認し配慮しているが、医師 の指示書に基づいているか分からない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他 必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が 行われているか。	○			

応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・朝礼の振り返りでやっている。また、事前にその日來所する生徒に会わせて人員配置を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			